

【文部科学省委託事業】

いじめ対策等生徒指導推進事業

『脳科学・精神医学・心理学等と学校教育の連携の在り方』

参加費
無料

子どもみんなプロジェクト in 千葉

キックオフ・イベント

第8回日本不安症学会

公開シンポジウムと講演会

日時 平成28年2月7日(日) 13:30~16:30(13時受付)

会場 千葉大学亥鼻キャンパス内 ゐのはな記念講堂

第1部 シンポジウム 13:50~15:20

「不安と上手につき合うための教育実践」

座長 保坂亨教授(千葉大学教育学部)

重栖聡司教授(千葉大学教育学部)

演者 小柴孝子先生(神田外語大学)

浦尾悠子先生(千葉県立保健医療大学)

吉田理子先生(千葉大学医学研究院認知行動生理学)

浅岡裕子校長先生(松戸市立金ヶ作小学校)

田辺昭雄校長先生(千葉県立国分高校)

第2部 特別講演 15:30~16:30

「ネットいじめを防ぐ情報モラルのための授業」

演者 藤川大祐教授(千葉大学教育学部)

事前のお申し込みは不要です。

お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

主催:千葉大学子どものこころの発達教育研究センター

共催:子どもみんなプロジェクト(文部科学省委託事業)

〒260-8670千葉市中央区亥鼻1-8-1 電話 043-226-2975 Fax 043-226-8588

<http://www.m.chiba-u.ac.jp/class/rccmd/> e-mail: chibarccmd☆ML.chiba-u.jp ☆の部分に@マークを入れて送信してください

後援:千葉県教育委員会(申請中)、千葉市教育委員会(申請中)、

日本学校教育相談学会千葉県支部(申請中)、千葉県高等学校長協会(申請中)



第1部 シンポジウム

子どもたちは様々な不安の問題を抱えており、それが学校生活での不応（問題行動・不登校等）や学業成績の不振につながる場合も多くあります。その解決法の1つとして、不安の感情をコントロールする目的で、考え方（認知）や行動のパターンを見直す認知行動療法が、医療機関で実施されています。また近年、学校現場において学級集団や個人を対象に認知行動療法に基づく指導を行うことで、子どもたちの不安の点数を低減することが実証されています。

そこで本シンポジウムでは、学校で行う認知行動療法の授業の実際や、今後の展望と課題について、研究者の立場と小中高等学校教員のそれぞれの立場から、多角的に検討します。

第2部 特別講演

最近数年、スマートフォンが子どもたちに急速に普及し、音楽プレーヤーやタブレット等の端末も広がっていることから、子どもたちの情報環境は一変しました。動画、ゲーム、コミュニケーションアプリ等の利用時間が長くなり、友人間でも「空気を読む」ことが要求され、ネットいじめの問題も深刻化しています。他方、いじめ防止対策推進法の施行以降、組織的・計画的ないじめ対策が求められています。ネットいじめを防止する授業をどうするか、具体的な教材に沿ってご説明します。

【文部科学省委託事業】

本事業は、平成26年7月24日の文部科学省「情動の科学的解明と教育等への応用に関する調査研究協力者会議（審議のまとめ）」の提言を受け、研究と教育の現場をつなぐ目的で立ち上げられたものであり、平成27年度予算に基づき文部科学省の委託事業として大学コンソーシアム（大阪大学を基幹大学に、金沢大学、浜松医科大学、千葉大学、福井大学、鳥取大学、弘前大学、兵庫教育大学、武庫川女子大学の9大学）により行われるものです。

【平成27年度いじめ対策等生徒指導推進事業】

脳科学・精神医学・心理学等と学校教育の連携の在り方「子どもみんなプロジェクト。」のご案内

本取り組みでは、不登校、いじめ、子どもの問題行動とともに、子どもたちみんなの育ちと学びについて、教育実践者と基礎的学問領域の研究者がそれぞれの立場から、課題について考え、その解決策を探ります。

千葉大学亥鼻キャンパスへのアクセス

- JR千葉駅、京成千葉駅到着後、JR千葉駅東口正面7番のバス乗り場から「千葉大学病院」行きまたは「南矢作」行きバスに乗車。
- 「千葉大医学部入口」で下車。
- バス乗車時間は約15分。

